

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
子ども学ゼミA	単位認定	1	林 幹士
<b>【授業のテーマ及び到達目標】</b> 授業のテーマ:子どものあそび 到達目標 乳幼児期から学童期の子どものあそびを通して、子どもの発達を理解することができる。また、保育活動におけるあそびの意義について修得する。季節ごとのあそびについて理解する。あそびの実践をエピソードとして記述していくことを通して、記述する力を身につける。			
<b>【授業の概要】</b> 子どものあそびを実践する。保育者役として、あそびを行う。この際、指導案を作成し、あそびの準備を行う必要がある。各回のあそびについて、エピソードを記述することで振り返っていく。			
<b>【全体の授業計画・内容】</b>			
1. オリエンテーション・ゼミ訪問 1. 2			
2. ゼミ選択・あそびの紹介			
3. エピソード記述とは			
4. あそびとは			
5. あそびの指導案作成			
6. 春のあそびの事例研究			
7. 春のあそびの実践			
8. 夏のあそびの事例研究			
9. 夏のあそびの実践			
10. 秋のあそびの事例研究			
11. 秋のあそびの実践			
12. 冬のあそびの事例研究			
13. 冬のあそびの実践			
14. レポート作成			
15. あそびの実践報告会			
<b>【準備学習の内容】</b>			
予習のあり方:子どものあそびについて、調べておくこと。			
学習のあり方:あそびを実施した日に、エピソードを記述すること。			
復習のあり方:保育におけるあそびの重要性を意識して、保育者としていかに実践していくのかを考えていく。			
<b>【成績評価】</b>			
提出物(70%)、あそびの実践(30%)を総合的に評価する。提出物は、最終提出課題であるレポート(2000字)である。			
<b>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</b>			
あそびの事例研究や実践の際に、保育者としてあそびを実践していくうえで必要なことについてアドバイスをを行う。あそびの実践報告会を通して、あそびを実践するうえでの課題を受講者全員で共有できるようにする。			
<b>【テキスト】</b>			
幼少年教育研究所(編著)『遊びの指導』同文書院			
<b>【参考文献】</b>			
授業時に適宜紹介する。			